



ナイス福岡 会報

くすのき

2021年3月
第 308 号



「当たり前の春、春の定番です。」

オオイヌノフグリ、1本の茎の先端に1輪の水色の花、明るい陽射しに合わせるように花びらを広げる様です。小さな虫がやって来て、受粉に協力してもらおうと、その横から次の花の茎が伸びてきて、花を咲かせます。この繰り返しです。一方、受粉した花は、葉の陰で種を育てます。1輪、1輪確実に、種を作ることを選択しています。

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 092-844-4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会(118回)は

☆日時 3月20日(土) 10時から12時まで、
コロナウィルスの拡散防止のための用心しつつ
開催します。

公園の駐車場もすべて従来通り利用できます。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160〔田村の携帯〕

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

3月21日（日） 4月18日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

3月28日（日） 4月25日（日）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

4月4日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

4月10日（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

4月11日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4月6日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5 P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

3月28日（日）
集 合：膿施山公園（みやま市）
公園内すいせん橋
時 間：9:00～12:00
問合せ：090-4480-9104（中嶋）
参加可能は会員のみ

福岡植物友の会

問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約 参加は有料

久留米の自然を守る会

ノスリ 三国・松永

4月4日（日）
春の野草を食べる会（採集と調理）
集 合：寺松農園（荒木町）
時間：10:00～
参加費：100 円（子ども無料）
要事前申し込み
問合せ：0942-43-7959（河内）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

4月3日（土）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:00（早めに終わるか
もしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
コロナ対策：ブログにて確認

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています

和白干潟を守る会 主催

3月27（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3月27（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

2021年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、2月1日(旧暦12月20日)～2月28日(旧暦1月17日)までのデジカメ日誌です。



2月2日(旧暦12月21日) 大野城市牛頭ダム
見上げればハイタカ、見下ろせばオシドリ。冬の探鳥の醍醐味である。



(上)2月14日(旧暦1月3日) 筑紫野市天拝坂
(下)2月27日(旧暦1月16日) 大分県九重町指山分岐
狭庭に一輪だけ開いたマルバノキ(ベニマンサク)と九重指山のマンサクの花。今年も見ることが出来た。



2月22日(旧暦1月11日) 筑紫野市天拝坂
嘴と眼の間を黄色に染めたヒヨドリがやって来た。化粧の
もとは、ヤブツバキの花粉。めしべの付根の蜜を吸った。

くすのき 2021年3月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会



2月4日(旧暦12月23日) 筑紫野市天拝公園
立春を過ぎたが、まだ春浅い時期の色鳥たち。色鳥は秋に渡ってきた小鳥の事だが、ここでは越冬中の彼らに良く出会う。左からルリビタキ・アトリ・クロジである。



(上)2月4日(旧暦12月23日) 筑紫野市西小田宝満川
(下)2月20日(旧暦1月9日) 筑紫野市江永浦池
最近、発泡スチロールやビニール、プラスチック片等、
又増えた気がする。上は餌探しのタヒバリ、下はイカルチ
ドリの水浴び。キッチンも風呂場もごみだらけ・・・



2月25日(旧暦1月14日) 竹田市長湯初山八幡社
4世紀後半の景行天皇の伝説地。古代には直入物部社で
あり、朽網郷(くたみ)と呼ばれた場所。「くたみ」が久住に
変化したと言われる。フクジュソウとユキワリイチゲ。樹齢
千年の大ケヤキ。参道階段の杉並木も巨木であった。

春日公園自然観察会 報告

令和3年1月16日（土）【参加者数】5人

【担当者】、田村耕作

コロナウイルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止していましたが、拡散が落ち着き始めた様子から、6月の観察会から開催しています。しかし、再び拡散が広がっていますが、よりコロナ対策に配慮しつつ、園内を散策しました。

（報告と写真/田村耕作）

観察コース

自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館

観察内容、冬芽や早春の花を中心に観察

植物 ノキシノブ、マメツタ、スズカケ、クスノキ、タイワンフウ、タネツケバナ、ミチタネツケバナ（帰化）、セイヨウタンポポ、アセビ、ネジキ、ヤマザクラ、スズメノヤリ、ホトケノザ、ケヤキ、ノシラン

野鳥 マガモ、キジバト、カワセミ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コゲラ、モズ、スズメ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ハクセキレイ、メジロ、カワラヒワ、アトリ、ヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル、リュウキュウサンショウクイ

その他の生きもの キタテハ

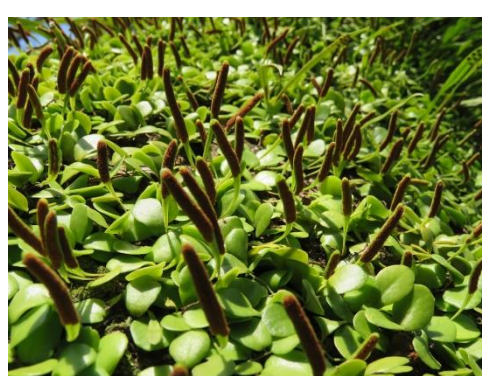
感想（参加者の声）

- ・アブラナ科のタネツケバナとミチタネツケバナ（帰化）の区別することが理解できた。
- ・シダ植物のノキシノブの孢子、マメツタの孢子葉を観察でき、おもしろかった。
- ・ノシランの実の色（青）が美しかった。

観察会風景

クスノキ

マメツタの孢子葉



ノシランの実

タネツケバナ

ミチタネツケバナ



咲き始めたアセビ

スズメノヤリ

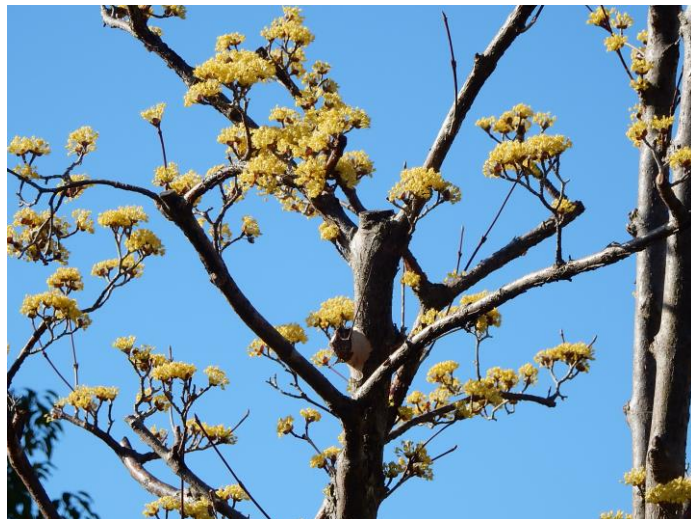
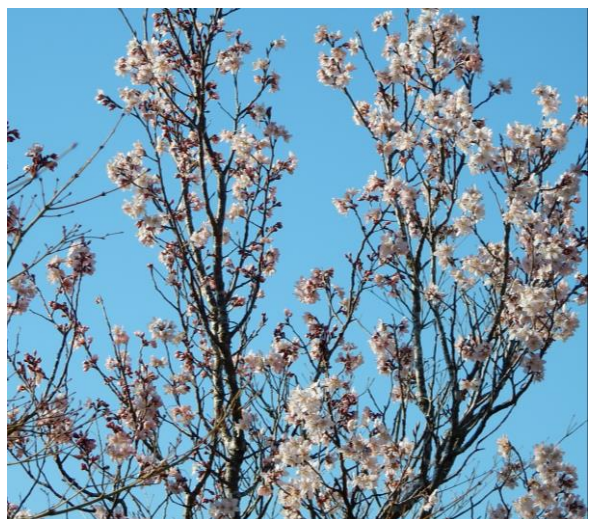


ケヤキに飲み込まれつつある金属の杭？参加者一同で驚いた。

会員からの投稿(1)

宍越しの自然観察 40

～ 一期一会 ⑭ ～



2月21日久しぶりにヒバリの澄んだ声を聞き、モズもちらりと姿を見せました。春の彼岸頃に咲くヒガンザクラが、2月の末から咲き始めたのも、常ならず。見下ろすと平野部にはハクモクレンが満開で大きな純白の鞠(まり)があちこちに転がっているように見えます。ぐっと遅れて周辺の花木も次々と開花を始めましたが、落葉樹の新芽はまだ硬いまゝ。サンシュユはいつも通り寒さの中に開花でした。(ダムサイト住人 2021/3/9 記)

会員からの投稿(2) 志賀 壮史

SDGsの17の目標(その5)

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を少しずつ取り上げています。

今回は「6. 安全な水とトイレを世界中に (Clean Water and Sanitation)」です。水や安全なトイレは人間が寄り集まって暮らしていくために不可欠。途上国を中心に、安全な上下水道を普及させようという目標です。

先日、福岡市を流れる那珂川にある番托井堰を訪れました。西鉄大橋駅から歩いて15分程度。塩原小学校の裏手にある那珂川の堰の一つです。ちょうど川岸の工事中で殺風景でした(写真)。江戸時代に農業用水のために作られて、戦後に福岡市の水道の取水口として使われるようになりました。ここから取水された那珂川の水は高宮浄水場に運ばれ、主に中央区一帯に配水されます。

福岡市が使う水は番托井堰以外にも曲渚ダムや那珂川市の南畑ダム、糸島市の瑞梅寺ダム、朝倉市の甘水(あもず)取水場、多々良川、長谷ダムなどから得ています。

しかしそれでは補えない分、実に福岡都市圏の水道用水の1/3は「福岡導水」でひかれています。つまり筑後川から数十キロの道のりを経て運ばれてきた水です。幸い私たちは蛇口をひねれば清潔な水が出てくる生活を送ることができています。

しかし、その水の1/3は日田や小国の森が蓄えてくれたものだということを忘れないようにしたいと思います。



会員からの投稿(3) 渋谷和美

2月14日バレンタインデーの朝

美しい二重の虹が根元までしっかり見えてました。

虹に願いをかけるなら、今は誰もがコロナ消えろって
思ってるのかなあ？

28日の久末ダムでの探鳥会に子供を連れた家族が何組か来られてました。やはりコロナ禍で行くところもなく、でも自然は裏切らないからしっかり楽しんで帰られてました。いろんな発見に親子でとても喜んでました。自然観察会開けるように頑張ろうかなあ?と思った瞬間でした。



◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆

 会費振込について
会計年度は6月が

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2020年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000 円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？
 次回の定例会は **令和3年4月**

次回の定例会は、**令和3年4月9日（金）午後2時**より事務局で行います。令和3年4月号の原稿は、**4/6（火）**までに届くようにお願いします。**なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。**

編集後記 2021 年 2 の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

私にとって早春の印象が強いキブシの花を見たいと思い、仲間に福岡近郊で出会える場所を尋ねた。キブシと遊んだ思い出がある。この木には髓の部分が白い発泡スチロールのようなもので形成されており、その部分をとり出し、お気に入りの形にして置くと、そのまま固まってしまう性質がある。例えば、渦巻きの蚊取線香のような形にして固めて、飾りにすることもあった。

教えてもらった情報から、糸島市の井原山山麓の林道沿いで出会った。花の房が伸びつつあり、葉はこれからという状態でした。

キブシを改めて調べてみると、人の暮らしと深いかわりを知りました。この木の髄は明かりの燈心として用いられていたこと、実からタンニンを取り、お歯黒に用いられたこと等です。

この木は雌雄別株、地域の変異も多いようです。鹿児島県大隅半島でナンバンキブシが記載されています。

さて、私が出会ったキブシは、単なるキブシなのでしょうか。

